

茶 time ~高齢者と観光客の拠り所~

21810256 田邊あさひ



お茶の葉の形の建物とバス停



高さを設けず薄茶色と黄緑の外観デザインで、茶畑に馴染むデザイン

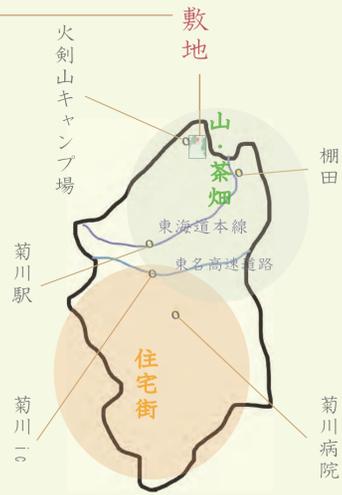
地域課題

- ・少子高齢化、若者が都会へ
- ・少子高齢による介護人手不足
- ・茶農家の人手不足
- ・市の財政確保
- ・地域内での発達格差



茶畑が広がる敷地

敷地周辺



菊川市



お茶の生産量日本一の静岡県
菊川市を含む中西部がメイン

計画敷地

静岡県菊川市の高齢者と年齢や国籍も様々な観光客が地域産物の「茶」を通し関わり合い、それぞれに良い刺激を与えられる空間を提案。共に地域の活性化を図る。

コンセプト

静岡県菊川市の高齢者と年齢や国籍も様々な観光客が

地域産物の「茶」を通し関わり合い、それぞれに良い刺激を与えられる空間を提案。

共に地域の活性化を図る。

計画案

〈地域の高齢者〉

介護されるようになる前の対策

・今も「頼られている」と思うこと

・「昔話」「自慢話」を聞いてもらう
(昔話は認知症の進行を遅らせる)

・「得意なこと」を褒めてもらう

日々がルーティン化している地域の高齢者

色んな人に話せる為話が同じでも聞き手が重複しない

- ・観光地をつくり市の良さを知ってもらい菊川市への移住を促進
- ・高齢者自身の自立・高齢化予防
- ・茶農業を広め興味をもってもらう
- ・観光客を集客し市の経済を促進させる
- ・住宅や商業施設が少ない地域に人を集め、活性化させる

〈観光客〉

お茶のリラクゼーション効果と空間でこの時間を堪能

求める空間 Ⅱ 非日常、癒しの場

訪れた街に興味高齢者の話を聞き知識を得れる

菊川市に魅力を求める観光客

ダイアグラム

〈お茶〉

お茶の葉は一枚一枚少しずれて重なりすべての葉に光を取り込み成長する

その後、収穫され混ざりあい

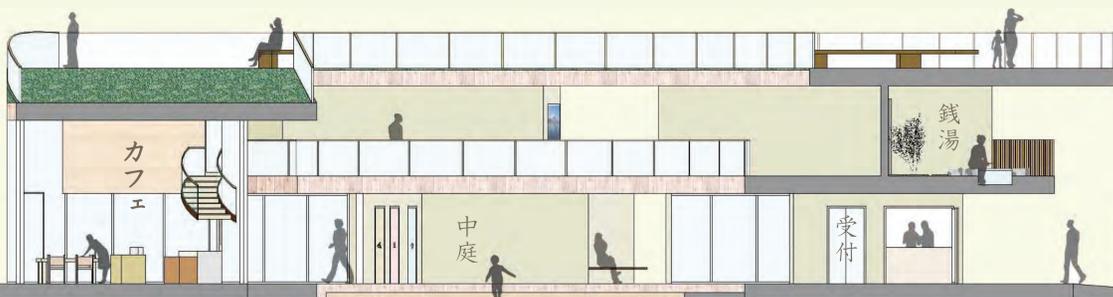
一杯のお茶が出来上がる

〈建物〉

中庭に光を入れる為、階の床をずらす

個々の空間がそれぞれの用途を満たしこの建物をぐるっと一周し

人の交流が出来上がる



B-B' 断面図